

2008年11月05日(水)

本日は、ご多忙の中、「青山学院関係者墓前礼拝」にご出席くださり、ありがとうございます。

ここに納骨されております皆様が、それぞれの時代、それぞれのお立場で、青山学院の充実・発展のために大きなお働きを為してくださいましたことに、改めて心からの感謝と敬意を表すものであります。

また例年、この小平霊園の他に国内では、青山、谷中、雑司が谷、多磨、鎌倉の各霊園や、横浜外国人墓地など、歴代の理事長・院長、初期の宣教師・功労者の墓所に、宗教主任の先生や宗教センターの職員の方々などが手分けして墓参し、祈りを捧げております。さらに海外では、スクーンメーカー先生、ソーパー先生、マクレイ先生と3人の創立者のお墓に、校友会ロサンゼルス支部の方々が墓前礼拝を行なってくださっています。

この墓前礼拝にあたり、先人たちの尊いお働きに改めて思いを起こし、この11月の創立記念の時を過ごしたいと存じます。

今、学院では、「青山キャンパス再開発計画」のもと、高等部校舎の建替え工事が着工され、大学の新館建築も着工の準備が始まっております。

また、大学において、今年4月からの二つの新しい学部と一つの新しい学科がスタートし、さらに来年からも一つの学部と一つの新しい学科が開設されるなど、「アカデミック・グランドデザイン」に基づく教育研究内容の変革と再創造に迅速かつ着実に取り組んでおります。

私達は学院のさらなる発展を目指して不断の努力を続けて参る所存でございますが、皆様には、青山学院をより発展・充実させていくために、これまでも増してご支援・ご協力をお願い申し上げる次第でございます。

結びといたしまして、ここにご出席の皆様の上に主の祝福が豊かにありますようお祈りいたしまして、ご挨拶といたします。